

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票 (評価対象年度：令和5年度)

施設の名称	名取市サイクルスポーツセンター
指定管理者の名称	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治
施設所管部課(室)	生活経済部商工観光課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期間	管理形態	指定管理者(管理受託者)	摘要
令和2年4月1日～	指定管理者	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	セントラルスポーツ・HACHI・ホテル佐勘共同企業体 代表企業 セントラルスポーツ株式会社 代表取締役 後藤 聖治
	所在地	東京都中央区新川一丁目21番2号
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日 (3年0ヶ月)	
募集方法	公募・非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市サイクルスポーツセンター	
所在地	名取市関上字東須賀2-20	
設置年月	令和2年10月3日	
根拠条例等	名取市サイクルスポーツセンター条例	
設置目的	市における地域の活性化及び市民の健康増進に資することを目的とする。	
施設の内容	スポーツ・レクリエーション施設	
開館時間(主な施設)	宿泊施設	午後3時から翌日の午前10時まで
	屋外施設	午前9時から午後5時まで(12月から3月までは、午前9時から午後4時30分まで)
休館日	無休(※日帰り温泉は毎月第2水曜日休み)	
指定管理者が行う管理運営業務	施設の使用の許可、維持・管理、その他市長が必要と認める業務	
利用料金制度	採用の有無	有・無
	利用料金の名称	

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
開館日数	365日	365日	365日	100.0%
延べ利用者数	151,147人	160,001人	142,633人	94.5%
利用者数 (人/日)	414.1人/日	438.4人/日	390.8人/日	94.5%
主な増減原因	7月、8月猛暑の影響で、この2か月間前年同月よりも4,000名来場者が少ない為。			

(注) 対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

(1) 収入

(単位：千円、%)

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
指定管理料	155,000	148,500	148,500	104.4%
利用料金収入				
その他				
収入計 (ア)	155,000	148,500	148,500	104.4%

(2) 支出

人件費	94,517	86,104	84,866	109.8%
施設管理費	36,933	39,565	36,862	93.3%
事業運営費	22,093	20,290	23,680	108.9%
その他				
支出計 (イ)	153,543	145,959	145,408	105.2%

(3) 収支

収支 (ウ) = (ア)				
－ (イ)	1,457	2,541	3,092	57.3%
前期繰越収支差額	11,895	9,354	6,262	127.2%
次期繰越収支差額	13,352	11,895	9,354	112.2%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

- <自転車>
 - ・乗れない子の自転車教室開催。(4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月)計：9回実施
 - ・乗れない子のプライベート自転車教室。(12月)
 - ・京都修学旅行生サイクリングモニターツアー(10月)
 - ・自転車向上会議サイクリングモニターツアー(11月)
 - ・サイクリング早朝自転車練習会(日曜・不定期)
 - ・マウンテンバイク体験会(2月)
- <温泉>
 - ・毎月のイベント湯実施。・日帰り温泉パックツアー実施。(11月、1月、2月、3月)・温泉早朝夜間営業実施(9/17～9/25)
 - ・温泉スタンプラリー実施。・温泉イベントカレンダー実施。・名取市観光物産協会にて温泉回数券販売。
 - ・温泉脱衣場インフォメーションボード設置。
- <イベント>
 - ・キッズサマー&スプリングキャンプ実施(7月、8月、3月)
 - ・ムラサキスポーツスケートボード体験会(6月、9月、11月)・3周年アニバーサリーイベント(10月)・ママチャリレース開催(10月)
 - ・名取復興国際サイクルフェスタ開催。(10月)・和室ヨガ開催。(2月)
 - ・閑上ビーチクリーン実施。(7月)
- <レストラン>
 - ・HACHI地域貢献イベント(8月～3月)・レストラン入口ディスプレイ変更
- <ショップ>
 - ・レストランHACHI商品陳列。(10月)NISHIKIYAレトルト商品陳列。(2月)
- <その他>
 - ・なとり夏祭り開催。(8月)・来場者50万人達成セレモニー開催(12月)

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

- <自転車>
 - ・ヘルメットラックが足りないとの要望があり、2台購入。
 - ・強風時のレンタル自転車受付フォルダが首に纏わりつくのを何とかしてほしいという意見を受け、風速8M以上の時は、首にかけないように受付時に案内を徹底した。
 - ・夏場の猛暑時、スタッフ巡回にて水分補給の声掛け及び館内放送実施。日陰にて休憩用のイス準備。
- <温泉>
 - ・下駄箱においての靴の履き違いが多い為、入口に啓蒙POPを掲示。また、受付にてビニール袋を準備して希望者に配布し、ロッカーに靴をしまってもらよう案内した。
 - ・脱衣場ロッカー鍵紛失防止の為、ロッカーに鍵持ち帰り禁止ポスター掲示にて啓蒙。
 - ・温泉利用マナーPOP掲示。
- <宿泊>
 - ・ブランケット貸し出し開始。
 - ・お茶っ葉を常時設置。
 - ・耐熱用の紙コップ全室に設置。
 - ・靴べらを全室に設置。
 - ・消臭剤を全室に設置。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

- ・開業して3年が経過、設備機器の劣化が徐々に始めている為、今後対応検討。
- ・塩害による施設の錆止め防止策対応検討。
- ・屋外施設閑散期の、来場促進イベント強化。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	◎	◎
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	◎	◎
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。		○	○	
その他、関係法令等が遵守されている。		○	○	
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	◎	◎
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	○
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	◎	◎
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	◎	◎
利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	△	△	
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	◎	◎
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準（目安）】

評価		評価の考え方
◎	（優良）	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	（良好）	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	（課題有）	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	（要改善）	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

令和2年10月のオープンから令和6年3月で3年半となるが、特に大きなトラブルも無く運営を継続している。開業からの利用人数が50万人に達するなど多くの利用者が訪れているものの、利用人数については目標値の218,000人に対して、151,147人となり目標達成とはならなかった。

しかしながら、利用者の意見に耳を傾けて業務の改善に取り組み、ニーズを捉えつつ各種自主事業を提案、実施して集客に努めているなど、全体的な管理運営について良好に行われているものと判断する。

※以下、特に優れていると判断した個別評価について

○実施体制に関する評価
毎月職員研修を実施しており、コンプライアンス・個人情報保護等の知識習得を目的としたものや、接客研修や温泉設備の勉強をする研修など直ちに実務に反映できるものを含め多様に実施し、適切な施設運営のための社員教育を実施していると捉えられる。また、毎日の業務開始前に災害発生時の館内アナウンスを復唱していることや、夜間の宿直スタッフ用に災害時対応マニュアルを整備するなど、災害に対する安全対策の取組も余念なく実施していると判断できる。

○サービスの内容や水準に関する評価
閑散期となる冬場の集客に繋げるため、朝ヨガ教室やマウンテンバイク講習会を新規実施するなど、施設の特長や管理者の知見を活かした事業に取り組んでいる姿勢は高く評価できる。また、意見箱の設置や宿泊者アンケートを随時実施し、利用者の苦情や要望を受け付ける体制をしっかりと取っており、対応についても昼夜問わず迅速に行っていることから、利用者からも高い評価を受けるなどの実績がある。

○経営状況に関する評価
物価高騰が続くなか、節電等に特に配慮していると捉えている。単に節電等を実施するのではなく、利用者の快適性も配慮した上で、使用していない場所の節電に務めるなど、施設の特長を理解した上での経費節減に取り組んでいると評価できる。また、日頃から温泉利用や宿泊と絡めた自主事業を実施していることやポスティングや訪問による広告・営業を実施しており、使用料収入の向上にも寄与しているものと判断した。